

## 市立大津市民病院総合医療情報システム運用管理等業務委託に係る特記事項

この特記事項は、市立大津市民病院総合医療情報システム運営管理等業務委託仕様書（以下、「仕様書」という。）に規定していない事項等について、本業務の委託者となる地方独立行政法人市立大津市民病院（以下「委託者」という。）が、本業務の受託者（以下「受託者」という。）に明示することを目的として、その詳細を定める。

### 1 対象システム

仕様書3に記載のシステム及び機器は、以下のとおりとする。

#### (1) 対象システム

- ・ 電子カルテシステム（富士通：HOPE/EGMAIN-GX）
- ・ オーダーリングシステム（富士通：HOPE/EGMAIN-GX）
- ・ 看護支援システム（富士通：HOPE/EGMAIN-GX）
- ・ 集中治療支援システム（富士通：HOPE/EGMAIN-GX オプション）
- ・ 周術期支援システム（富士通：HOPE/EGMAIN-GX オプション）
- ・ 汎用画像ファイリングシステム（富士通：HOPE/EGMAIN-GX PORTライブラリ）
- ・ DWH システム（富士通：HOPE/DWH-GX）
- ・ 医事会計システム（富士通：HOPE/X-W）  
〔医事統計システム、未収金管理システム、レポート請求システム、査定管理システム、POSレジシステムを含む〕
- ・ 会計待ち表示システム（アルメックス）
- ・ 診察待ち表示システム（富士通ゼネラル：Hospitation）
- ・ 地域医療連携システム（富士通：HumanBridge）  
〔退院支援、医療相談機能を含む〕
- ・ 診療情報管理システム（富士通：病歴大将）  
〔退院バリ、がん登録機能を含む〕
- ・ 治験管理システム（富士通：HOPE/NMGCP）
- ・ 看護勤務管理システム（富士通：HOPE/ナーススケジュール）
- ・ クライアント管理システム（富士通：HOPE/瞬快）
- ・ グループウェアシステム（サイボウズ：Garoon）
- ・ 産科電子カルテシステム（トーイツ：TPMS-BX）※要検討
- ・ 眼科電子カルテシステム（ニデック：NAVIS-HP）
- ・ 褥瘡管理システム（セーフマスタ）
- ・ 感染管理システム（シーメンス：ICTWeb）
- ・ 服薬指導システム（インフォコム：PICS）
- ・ 調剤支援システム（トーショー）
- ・ 検体検査システム（A&T：CLINILAN GL-2）
- ・ 輸血検査システム（A&T：CLINILAN BT-2）
- ・ 細菌検査システム（ベックマン・コールター：SMILE Honest）
- ・ 生理検査システム（日本光電：PrimeVita）
- ・ 病理診断支援システム（コンパス：Star Pathology）
- ・ 透析業務支援システム（SJ メディカル：STEP II）
- ・ リハビリ管理システム（タック）
- ・ 栄養管理システム（コアソリューションズ：Eye Plus）
- ・ 健診システム（テクノア：iD-Heart II）

- ・ インシデントレポートシステム (メディシステムソリューション：ファントルくん)
- ・ 放射線部門システム (富士フィルムメディカル：SYNAPSE)
- ・ 放射線治療部門情報システム (富士フィルム医療ソリューションズ：ShadeQuest)
- ・ 内視鏡情報管理システム (富士フィルムメディカル：NEXUS)
- ・ 循環器動画システム (グッドマン：Goodnet)
- ・ 採血業務支援システム (テクノメディカ：Assist More) ※R2.2月稼動予定
- ・ ナースコールシステム (アイホン) ※平成31年度内更新予定
- ・ 医療文書作成支援システム (インフォコム：Medi-Support Plus)
- ・ 人事給与システム (
- ・ 勤怠管理システム
- ・ 文書管理システム
- ・ 財務会計システム (富士通マーケティング：SOFIA)
- ・ 物流管理システム (サンシステム)
- ・ 備品管理システム (トリオシステムプランズ)
- ・ DPC 分析ベンチマークシステム (メディカル・データ・ビジョン：EVE)
- ・ ウイルス対策システム (TREND MICRO)
- ・ ネットワーク管理システム (富士通：Systemwalker Centric Manager)
- ・ 大津市行政情報ネットワーク環境 (本庁接続環境)
- ・ 院内ネットワーク環境
- ・ インターネット環境
- ・ 滋賀県医療情報連携ネットワーク接続環境 (びわ湖あさがおネット)
- ・ 委託者が今後導入するシステム

## (2) 対象機器等

- ・ サーバ機器
- ・ クライアント機器 (モニタ、マウス等周辺機器含む)
- ・ 高精細モニタ
- ・ プリンタ (ラベルプリンタ含む)
- ・ リストバンドプリンタ
- ・ スキャナ装置
- ・ バーコードリーダー
- ・ IDカードリーダー
- ・ ペンタブレット
- ・ POSレジ
- ・ 診察券発行機
- ・ 患者案内表示盤 (会計待ち、診察待ち)
- ・ 再来受付機
- ・ 自動精算機
- ・ プロジェクタ
- ・ ネットワーク機器
- ・ 空調設備
- ・ 無停電電源装置
- ・ 委託者が今後導入する機器

## 2 業務時間等

仕様書5に記載の業務時間等は次のとおりとする。

ただし、(2)各号に掲げる業務については、必要な人員を追加して配置すること。

(1) 通常運用体制

業務従事者の人数配置及び勤務ローテーション作成にあたっては、次に示すとおりとし、全体の業務従事者の総数は3名以上とすること。

① 病院開院日

午前 7時30分から午前 8時30分まで：1名以上

午前 8時30分から午前11時00分まで：2名以上

午前11時00分から午後 5時15分まで：3名以上

午後 5時15分から午後 8時00分まで：1名以上

(2) 通常運用体制以外

① 仕様書7(2)のオペレーション業務

月次処理として、毎月11日頃までに（病院開院日を含む）に入院及び外来のレセプト出力処理、医事統計処理を実施すること。

② 仕様書7(1)⑦の障害時対応業務

ア 通常運用体制の場合

通常運用体制の業務時間内外を問わず、システム障害が復旧するまでの間、立ち会うこと。

イ 通常運用体制以外の場合

緊急連絡体制及び必要に応じて緊急出勤体制を整えること。

なお、緊急出勤にあたっては、緊急連絡を受けてから概ね60分以内に病院に出勤できる体制を整えること。

③ 仕様書7(1)⑧「保守管理」に記載の保守点検及び電気設備点検の立会い

あらかじめ指定する休日に、システム（機器を含む）の保守点検及び電気設備点検の立会いを行い、必要に応じて病院関係部署への連絡を実施すること。